

まちの未来を担っていく子どもたちが、それぞれの個性を伸ばし、いきいきと夢を持って育っていけるように、家庭、学校、地域、行政が一体となって、子どもを育み、守る環境や仕組み作りを進めることを目指します。

1 基本データ <県記載>

・順位は県内市町村の降順
・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）					
増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
▲14.1% (▲6.2%)	18位	▲2.8% (▲2.1%)	13位	▲11.3% (▲4.1%)	22位
②合計特殊出生率			③有配偶出生率		
H20～24年(年率)	順位	対H15～19年(年率)増減		(15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数)	
1.23 (1.29)	25位	+0.02 (+0.06)	H27年	順位	
			75.6 (74.4)	10位	
④出生数(人)		⑤年少人口割合(15歳未満)			
H30年	H30年10月	順位	対25年10月増減		
345 (8,947)	10.0% (12.0%)	20位	▲1.2ポイント (▲0.7ポイント)		
⑥子育て世代割合(25～44歳)					
H30年10月	順位	対25年10月増減			
20.0% (20.7%)	16位	▲3.6ポイント (▲3.8ポイント)			

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① はじめての子育てで不安になってしまう家庭が増加しているので、子育て親子の交流を促進し、子育てについての相談や情報提供をしながら、子育ての不安を緩和し、育ちを支援することが必要。
- ② 子どもの成長、発達を継続してサポート関係を築くワンストップ型の支援を整備していくことが必要。
- ③ 子育ての悩みは、子どもの成長とともに変化し、悩みが完全になくなることはないので、いつでも相談でき、本当に必要な人の元に支援が届くようにすることが課題。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方(目指していること)

- ① すべての子どもが夢と希望をもって成長し、安心して子育てができるまちづくりをめざし、施策を検討していく。
- ② 施策は「子育て支援サービスの充実」「心豊かで健やかな子どもが育つ環境づくり」「安心とゆとりのある子育て環境づくり」「すべての子育て家庭への支援」を4本柱に推進。
- ③ 重点分野は、子育て支援サービスの充実。

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 市民交流センターにおいては、土日休日においても子育て支援・子育て相談をしており、子育て中の親子が気軽に集える場と夜間まで利用できる託児室で、子育て支援に力を入れている。
- ② 子どもが病気のときも、安心して預けることができる病児保育事業を委託しており、平成30年度は年間延べ1,111件の利用があった。

5 多様な主体による子育て支援の取組

- ① 子育て家庭が地域で孤立することのないように、地域で活動する「子ども食堂」団体と密に連携をはかり、子ども達の居場所はもちろん、学習支援や共食の機会を確保できるような取組を実施している。
- ② 事業者と協定を締結して、子どもから高齢者まで地域で見守りネットワーク事業を実施している。孤立することを防止し、早期発見、早期対応を目指している。現在15の事業者と締結している。

詳しくは 大和高田市ホームページ
<http://www.city.yamatotakada.nara.jp>